

開講科目名	日本語聴解・会話中上級A			
成績入力担当	前田 真奈美	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG070	曜日・時限等	水1(対面)	時間割コード

授業のテーマ

時事問題および社会・文化的テーマを扱い、自ら関心を持つ内容について説明・議論・発表する力を養成する。

授業の到達目標

本授業の修了時には、以下の能力を身につけていることを目標とする。

1. 自ら関心を持つテーマについて、明確かつ論理的に説明できる。
2. 聞き手を意識した構成でプレゼンテーションを行うことができる。
3. 時事問題や社会・文化的テーマについて理解を深め、議論できる。
4. 議論や発表に必要な語彙・表現を適切に用いることができる。
5. 相互作用上の課題に対処するためのコミュニケーション・ストラテジーを活用できる。

授業の概要と計画

本授業は、学生が現在関心を持っているテーマについて、明確かつ詳細で構造的な説明を行う能力を養成することを目的とする。また、聞き手の関心を効果的に引きつける形で発表する力の育成も目指す。

授業では、時事問題ならびに社会・文化的テーマを題材とし、主にディスカッションおよびプレゼンテーション活動を中心に展開する。必要に応じて資料の読解や短い視聴覚資料も扱うが、授業の中心は発信活動および相互作用に置く。これらの活動を通して、関連する語彙および表現の運用力を高めるとともに、相互作用上の課題に対処するためのコミュニケーション・ストラテジーを養成する。

第1回 4/8 オリエンテーション、自己紹介で好印象を与える

第2回 4/15 友人を紹介する

第3回 4/22 きっかけを語る

第4回 5/8 なくした体験を話そう

第5回 5/13 町の様子を話す

第6回 5/20 ディベート

第7回 5/27 ディベート2

第8回 6/3 まとめ・試験

各授業で扱うテーマは、暫定的なものであり、履修者のニーズや社会状況の変化に応じて変更することがあります。

成績評価方法

成績評価方法：

- ① テスト 40%
- ② 各課題 20%
- ③ 授業参加度 40%

で評価する。

成績評価基準

*出席率70%以上を成績評価の要件とする。この要件を満たさない場合は、自動的に「F（不合格）」とする。

1. 自らの意見を論理的に表明するとともに、他者の意見を理解し、適切に応答できるようになったか。
2. 既有的背景知識を活用し、時事問題に関するニュース内容を適切に理解できるようになったか。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：

本授業は中上級レベルの授業である。中級レベルの学修を修了している者、またはCIE-J Testにおいて「中上級レベル」と判定された学習者を対象とする。

*交換留学生（特別聴講学生）の履修を認める。

関連科目情報：

- ・「日本語聴解・会話中上級B」を継続して履修することが望ましい。
- ・日本語中上級Ⅰ～ⅢA

事前・事後学修

準備学習・復習：

BEEF上の指示に従って各課の予習を行うこと。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

原則、クラス内で質問すること。授業時間外に質問があるときは、下記メールアドレスにメールを送ってください。

メールアドレス：cashy_den_fuku[AT]peridot.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @（半角）に置き換えた上で宛先を入力。

学生へのメッセージ

自分のさまざまな気持ちや本当に伝えたいことを相手に伝えられるようになり、相手の本当の気持ちを理解できるようになる。そのためのヒントを、この授業で見つけてほしい。

今年度の工夫

BEEF（LMS）を活用して、自習の支援を行います。

教科書

使用する教材（音声データ等）はBEEF上に掲載する。

教材は電子データで配布するため、パソコンまたはタブレットを持参すること。

スマートフォンの使用は不可とする。

参考書・参考資料等

使用する教材はBEEF上に掲載する。

教材は電子データで配布するため、パソコンまたはタブレットを持参すること。

スマートフォンの使用は不可とする。

授業における使用言語

日本語

日本語

キーワード

日本語

中上級 聴解・会話

パソコン

交換留学生（特別聴講学生）可